

抱っこひも  
クルム ファースト

取扱説明書／保証書

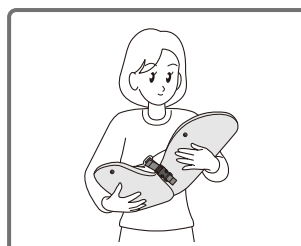
このたびは、アプリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この製品は

- ・新生児※ から4カ月あるいは身長60cm(体重7kg)までのお子さま1人用抱っこひも〈ファーストセット〉
- ・生後2カ月かつ身長55cm以上から36カ月(体重15kg)までのお子さま1人用抱っこひも〈3WAY抱っこひも〉のセットです。

※出生時に、体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たしているお子さまを対象としています。  
出生時の条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

ファーストセット



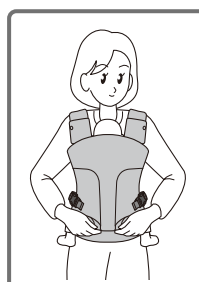
ママで抱っこ  
(抱っこクッション)



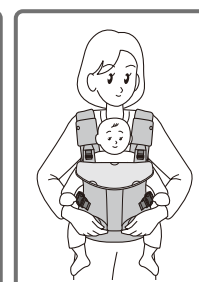
ママで抱っこ プラス  
(抱っこクッション+スリングベルト)

「ママで抱っこ」は、抱っこクッション単体で、あるいはスリングベルトにセットして使用する抱き方です。本書では、抱っこクッションにスリングベルトをセットする抱き方を「ママで抱っこ プラス」と呼んでいます。

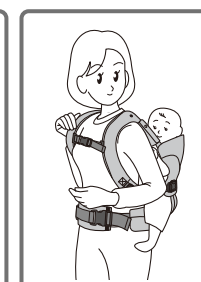
3WAY抱っこひも



タテ対面抱っこ



前向き抱っこ



おんぶ

・腰ベルトサイズ：60cm～138cm。  
(体型によって冬場など厚着のときには使用できない場合があります。)

ご使用の前に、取扱説明書(本書)をよくお読みのうえ正しくお使いください。  
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。  
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が十分発揮できないだけでなく大変危険です。

もくじ

使用できる対象のお子さま	1
各部の名称	2
ご使用上の注意	3
バックル・ホック使用上の注意	5
ベルトの調節方法	5
お子さまの乗せ降ろしに関して	5
<b>ファーストセットの使用法</b>	6
ママで抱っこ(抱っこクッション)	6
新生児～4カ月あるいは身長60cm(体重7kg)・首がすわるまで	
ママで抱っこ プラス(抱っこクッション+スリングベルト)	7
新生児～4カ月あるいは身長60cm(体重7kg)・首がすわるまで	
<b>3WAY抱っこひもの使用法</b>	10
各部の調節・使用法	10
本体の折りたたみ方	11
使用者への装着方法(お子さまを抱っこする前に)	13
タテ対面抱っこ	14
2カ月以降かつ身長55cm以上～36カ月(体重15kgまで)	
前向き抱っこ	16
ひとり座りができた7カ月～24カ月(体重13kgまで)	
おんぶ	17
首がすわった4カ月～36カ月(体重15kg)	
3WAY抱っこひも 装着のチェックポイント	19
お手入れについて	20
点検について	20
Q&A	21
SGマーク制度について	21
保証とアフターサービスについて	21
保証書	22

●使い方の動画は下記でご覧いただけます。  
取扱説明書をお読みいただいた後、動画をご覧ください。

- 〈ママで抱っこ〉
- 〈タテ対面抱っこ〉
- 〈前向き抱っこ〉
- 〈おんぶ〉
- 〈使い方のポイント〉



・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。  
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がございましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。  
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合がありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル  
ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814 携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担)TEL 0570-004-155  
受付時間：AM10:00～PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

# 使用できる対象のお子さま

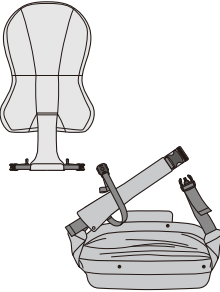
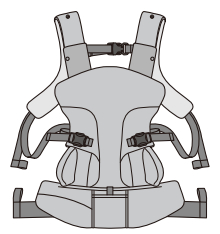
・この製品は2つの抱っこひも【ファーストセット】・【3WAY抱っこひも】のセットです。  
 ・各々の抱っこひもはお子さま1人用です。

## 使用できる対象のお子さま

SGマーク被害者救済制度対象の使用期間

SGマーク被害者救済制度対象外の使用期間

※お子さまの発達には個人差があります。  
 ※お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できない場合があります。

	新生児 0カ月	2カ月	首すわり 4カ月	ひとり座り 7カ月	24カ月	参考月齢 36カ月
 <b>ファーストセット</b>	<b>ママうで抱っこ(抱っこクッション)</b> 体重7kgまで 身長60cmまで 寝返りをするようになったら使用をやめる 抱っこクッション単体での使用はSGマーク制度の対象外です。					
	<b>ママうで抱っこ プラス(抱っこクッション+スリングベルト)</b> 体重7kgまで 身長60cmまで 寝返りをするようになったら使用をやめる					
 <b>3WAY抱っこひも</b>	<b>タテ対面抱っこ</b> 体重13kgまで 体重15kgまで 身長55cm以上 24カ月を超えて36カ月まではSGマーク制度の対象外です。					
	<b>前向き抱っこ</b> 体重13kgまで					
	<b>おんぶ</b> 体重15kgまで					

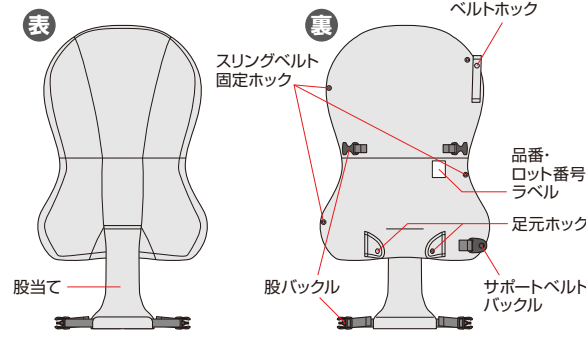
# 各部の名称

※品番・ロット番号は製品に縫い付けの品質ラベルに記載されています。

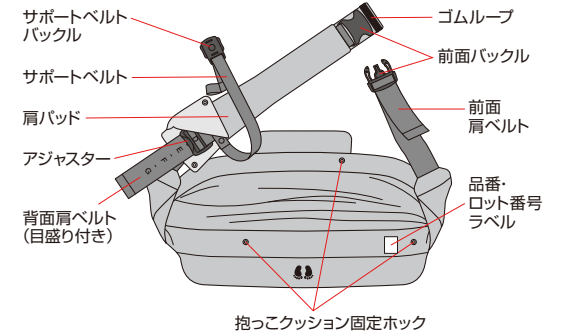
・製品を取り出した後は、部品がそろっているか、破損がないかご確認ください。  
 ・不足や不良の際は、弊社お客様サポートセンターまですみやかにご連絡ください。(P21参照)

## ファーストセット

### 抱っこクッション

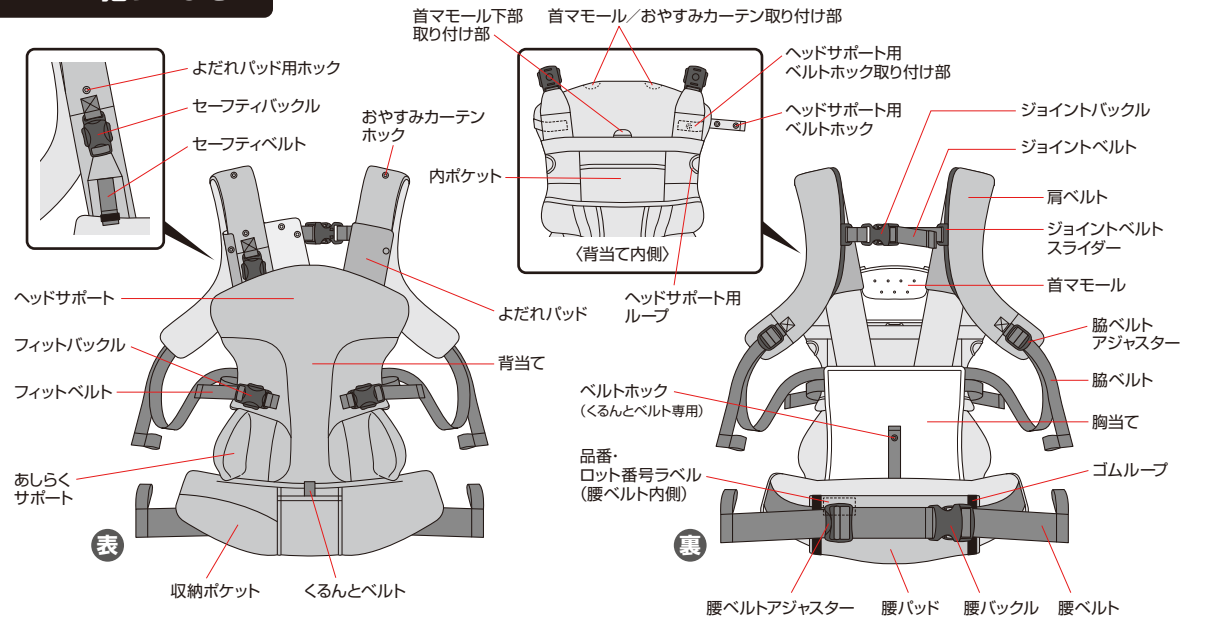


### スリングベルト (単体での使用はできません。)



開梱時は、抱っこクッションとスリングベルトがセットされた状態になっています。抱っこクッション単体で使用する場合は、スリングベルト固定ベルトホックと抱っこクッション固定ホック(3カ所)ははずしてご使用ください。

## 3WAY抱っこひも



### 〈付属品〉





・よだれパッド、おやすみカーテンは取扱説明書(本書)の袋の中に入っています。



※付属品は、使用しないときも取扱説明書と一緒に大切に保管してください。

取扱説明書/保証書  
(本書)

## ご使用上の注意

**表示内容について** 「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。
	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

**警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

**落下の危険性** お子さまが開口部から落下するおそれがあります。

・着脱する際や身体を傾ける際は、お子さまの身体を手で支え、頭が下向きにならないよう膝を曲げて腰を落とす姿勢で行う。



・走ったり、跳んだり、無理な姿勢をとらない。  
・使用中に大きく前かがみしない。



・抱っこひもを正しく調節し、バックルなどの固定箇所は確実にとめて使用する。  
・すき間があきすぎたり、左右のベルトの長さが大きく違い過ぎたりしないよう、ベルトの長さを調節する。



・身体を傾けた際にお子さまの頭が下になったり、使用者の身体から離れないよう、ママで抱っこでは、お子さまを手で支えて使用する。



**窒息の危険性** お子さまが窒息するおそれがあります。

・生後4カ月未満のお子さまは、使用者の身体に顔を強く押しあてた状態にしない。  
・お子さまを使用者の身体に強く縛りつけず、頭部を動かす余裕があるように装着する。



・抱っこクッションを使用するときは、お子さまをうつ伏せにしない。

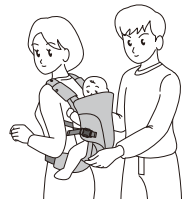


・お子さまのあごの下と胸の間には少なくとも大人の指2本程度のすき間を確保する。  
・気道をふさいでいないかなど、お子さまの状態に注意しながら使用する。

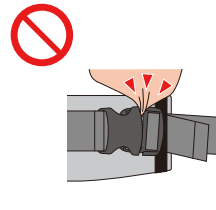
・製品が入っていた箱や梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

**着脱の注意**

・お子さまを乗せ降ろしするときは必ず安全な場所で、低い姿勢で行う。お子さまが落下するおそれがあります。他の人に手伝ってもらったより安全です。おんぶのときは特に注意してください。



・使用前にバックルなどの固定箇所が確実にとめられていることを確認する。装着後も緩みがないかを確認する。お子さまが落下するおそれがあります。



**警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

**着脱の注意**

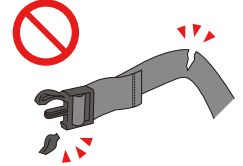
・スリングベルトを使用してママで抱っこをするときは、必ず抱っこクッションを取り付けて使用する。お子さまが落下するおそれや窒息するおそれがあります。



・お子さまの首がすわるまでは、前向き抱っこをしない。お子さまが体調をくずすおそれがあります。



・バックルなど固定部品の破損、ベルトや生地の変色、ほつれ、きずがある場合は使用しない。お子さまの落下や、思わぬ事故につながるおそれがあります。



**使用に際しての注意点**

・各抱っこのお子さまの使用条件(月齢・発達・体重・身長)を必ず守ること。お子さまの落下や思わぬ事故の原因となります。

・授乳後30分以内は使用しない。お子さまのおなかを圧迫することがあり、消化吸収を妨げるおそれがあります。

・早産児や呼吸器疾患などがある場合は、使用開始可能月齢であっても使用を控え、医師に相談の上使用してください。窒息など思わぬ事故につながるおそれがあります。

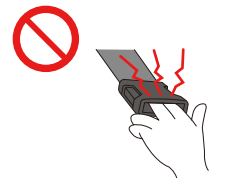
・飛行機、車、自転車、バイクでは使用しない。思わぬ事故につながるおそれがあります。



・使用者およびお子さまの体調がすぐれないときや、使用中に痛みや不快を感じたときは直ちに使用を中止する。

・料理や家事をする際は、十分注意する。家事に気をとられ、お子さまのやけどや落下など、思わぬ事故につながるおそれがあります。

・バックルは使用していないときははずしたままにしない。お子さまがバックルに指を入れて、けがをするおそれがあります。



・反り返る、身体を丸めて潜り込む、タテ抱っこやおんぶで両足が外に出ていないなど、お子さまに不自然な姿勢をとらせない。お子さまの落下やけがにつながるおそれがあります。

・お子さまがひどく後ろに反り返るなど、安定して抱っこできない場合は、抱っこひもの使用を中止する。思わぬ事故につながるおそれがあります。

・ベルトを切り落とす、縫い目をほどくなどの改造や製品の染色をしない。思わぬ事故につながるおそれがあります。

・出荷時に同梱された付属品および弊社指定の部品以外を取り付けて使用しない。製品が正しく機能できないおそれがあります。(内ポケット、腰ベルトポケットに入れるものについては、P11の注意事項をご確認の上ご利用ください。)

・首すわりまでのタテ対面抱っこは連続1時間以上、それ以外の抱っこでは連続2時間以上使用しない。お子さまや使用者が体調をくずすおそれがあります。

・抱っこクッションを同梱のスリングベルト以外の製品に取り付けて使用しない。思わぬ事故につながるおそれがあります。

**注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

・お子さまの頭で前方、特に足元の視界が妨げられないよう装着し、歩行時も注意する。



・抱っこクッション単体では屋外で使用しない。思わぬ事故につながるおそれがあります。  
・暖房器具の近くなど高温になる場所に製品を放置しない。  
・直射日光のあたる場所に製品を保管しない。変色や劣化が早まります。  
・その他、荷物の運搬など、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用をしない。

## バックル・ホック使用上の注意

抱っこクッション、スリングベルト、3WAY抱っこひもで共通

- ・各部のバックル、ホックは音がするまで確実にとめ、とめた後は軽く引っ張ってはずれないことを確認してください。
- ・必ず各部の固定方法を確認の上、指定された方法で確実に固定して使用してください。
- ・バックルやホックの間によだれパッドなどの部品や衣服の生地などを挟んでいないか確認してください。

### バックル

バックル差し込み部にゴムループがある部位は、必ずゴムループを通してバックルをとめてから、ゴムループの上にベルトを引き出してください。

### ホック

※イラストはホックの一例です。

### バックル

〈はずすときは〉

両脇の解除ボタンの中央を押してはずします。

よだれパッド使用時はパッドをめぐって付けはずします。

## ベルトの調節方法

- ・各部のベルト長さをお子さまや使用者に合わせて必ず調節してください。

### 基本のベルト長さ調節方法

#### 〈短くする(締める)〉

●ベルト先端を矢印方向に引く。

#### 〈長くする(ゆるめる)〉

●バックルもしくはアジャスターを立ててベルトを引き、ゆるめる。

・あまったベルトは先端のゴムでまとめます。  
※開梱時はベルトはゴムでまとめられています。

### 抱っこクッションのベルト調節

手のひら1枚分程度のすき間確保。

ベルトはお子さまの身体にフィットさせるように調節してください。  
調節後、お子さまのおなかと股当ての間に手のひら1枚分程度のすき間があることを確認してください。(おなかの圧迫を防ぐため)

## お子さまの乗せ降ろしに関して

- ・お子さまの乗せ降ろしはソファなど安全な場所で、低い姿勢で行ってください。慣れるまでは他の人に手伝ってもらうとより安全です。
- ・乗せ降ろしでは、常にお子さまを手で支えながら行ってください。

## ファーストセットの使用法

### ママうで抱っこ (抱っこクッション)

新生児(0カ月)~4カ月あるいは身長60cm(体重7kg)ただし首がすわるまで寝返りをするようになったら使用をやめる

※抱っこクッション単体での使用はSGマーク制度の対象外です。



・抱っこクッションを単体でご使用いただく方法です。抱っこクッション単体では屋外で使用しないでください。

### お子さまを乗せる 平らで安全な場所でお子さまの乗せ降ろしを行ってください。

#### 1 事前準備

① 股当てのバックルをはずします。(左右)  
② 裏面の足元ホックをとめます。

#### 2 抱っこクッションを装着する

① お子さまを寝かせ、左右のバックルをとめます。  
② 左右のベルトを調節します。(調節の目安はP5参照)

#### 3 抱っこする

両足の下から支え、股の間に腕を入れない

両手でお子さまの頭部と足もとを下から支えて抱きかかえます。  
お子さまの頭が下がらないよう、お子さまの頭がおなかより高い位置になるようにして抱っこしてください。

### お子さまの降ろし方・降ろした後に

#### 1 お子さまを降ろす

ゆっくりと抱っこクッションごと降ろします。

#### 2 バックルをはずす

股当てのバックルをはずしてお子さまをクッションから降ろし、別の場所に寝かせます。

### 抱っこのチェックポイント

※お子さまをやさしく腕で抱っこする角度に。

- お子さまの頭がおなかより高い位置にくる。
- お子さまの身体が極端にねじれていない。

※お子さまを抱っこクッションの上に寝かせたままにする場合については、P9をご確認ください。

# ママうで抱っこ プラス (抱っこクッション+スリングベルト)

新生児(0カ月)~4カ月あるいは身長60cm(体重7kg)ただし首がすわるまで寝返りをするようになったら使用をやめる



ママうで抱っこ  
装着動画



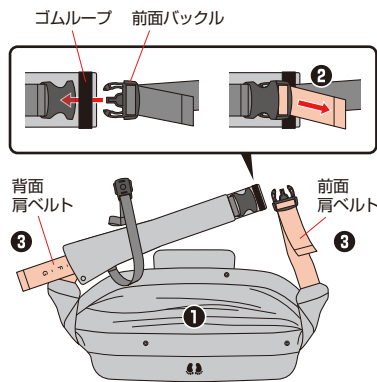
連続使用の目安

2時間以内

- ・スリングベルトに抱っこクッションをセットして使用する予定です。抱っこの向きは固定です。使用者の左胸側にお子さまの頭がきて、スリングベルトを右肩にかける向きのみ使用できます。
- ・スリングベルト単体での使用はできません。必ず抱っこクッションを取り付けて使用してください。

**事前準備** 事前にスリングベルトに抱っこクッションを取り付け、背面肩ベルトの長さを使用者に合わせて調節しておきます。

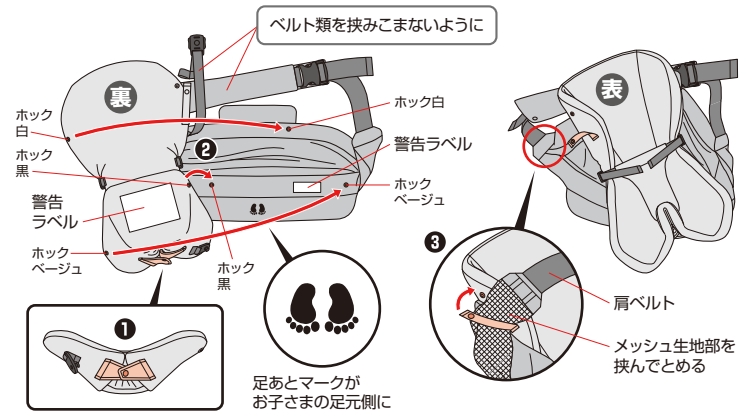
## 1 スリングベルトの準備：前面バックルを接続する



- 1 足あとマークが見えるようにスリングベルトを広げます。
- 2 ゴムループを通して前面バックルをとめ、ベルトを引きだします。
- 3 前面肩ベルトを最大まで締め、背面肩ベルトはゆるめにしておきます。

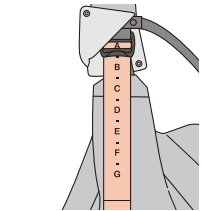
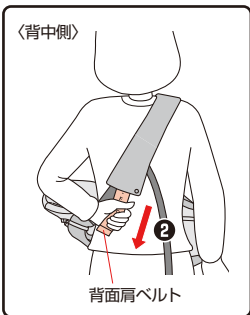
※開梱時は前面バックルはとめられていますので、②の手順は不要です。

## 2 スリングベルトの準備：スリングベルトに抱っこクッションを取り付ける



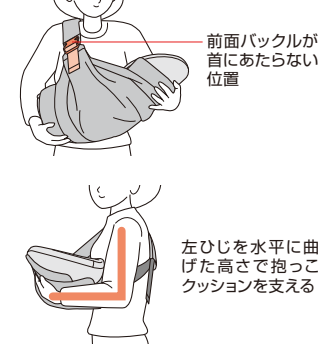
- 1 抱っこクッション裏面の足元ホックをとめます。
- 2 同じ色同士のホックで抱っこクッションとスリングベルトをとめます。(3カ所)  
※警告ラベルがある方が裏面になります。
- 3 スリングベルトの背面肩ベルトのつけ根(赤丸部分)のメッシュ生地部を、抱っこクッションのベルトホックで挟み込んでとめます。

## 3 スリングベルトの準備：背面肩ベルトの事前調節



背面肩ベルト端の目盛りを覚えておくと便利です

### 〈調節の目安〉

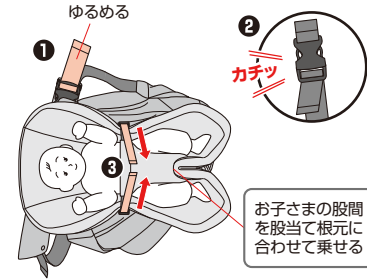


※前面肩ベルトはお子さまを乗せた後に調節します。

- 1 抱っこクッションを取り付けたスリングベルトを右肩に斜め掛けします。
- 2 右の〈調節の目安〉のような位置になるように背面肩ベルトを引いて調節します。
- 3 スリングベルトを使用者からはずして、安全な場所に広げます。

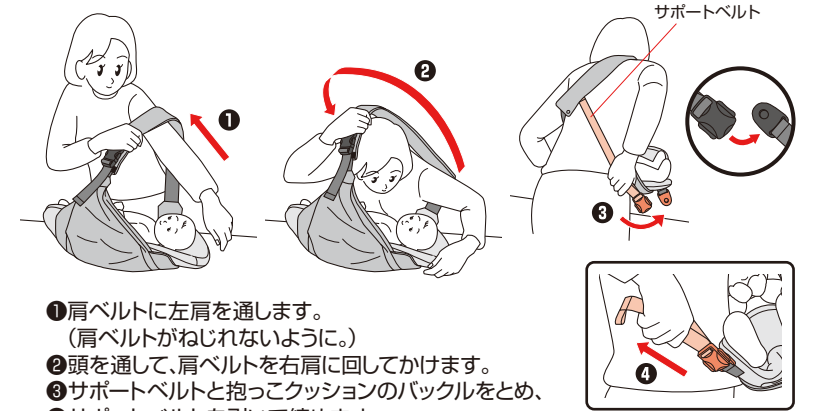
# お子さまを乗せて抱き上げる 平らで安全な場所でお子さまの乗せ降ろしを行ってください。

## 1 お子さまへの装着



- 1 前面肩ベルトをゆるめます。
- 2 お子さまを抱っこクッションの上に寝かせて股バックルをとめます。(左右)
- 3 股当てのベルトを調節します。(左右)  
(調節の目安はP5参照)

## 2 使用者の肩にかけ、サポートベルトをとめる



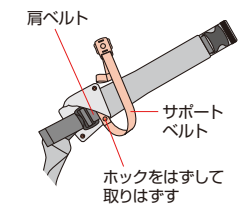
- 1 肩ベルトに左肩を通します。  
(肩ベルトがねじれないように。)
- 2 頭を通して、肩ベルトを右肩に回してかけます。
- 3 サポートベルトと抱っこクッションのバックルをとめ、
- 4 サポートベルトを引いて締めます。

## 3 肩ベルトの長さを調節する



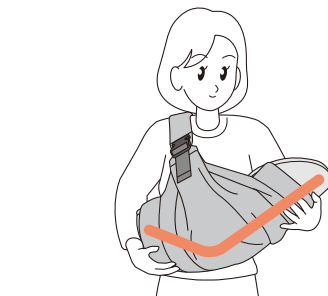
- 1 お子さまの頭側を支えながら抱き上げ、前面肩ベルトを引き、調節します。
- 2 お子さまの頭が低い場合は背面肩ベルトを引いて調節します。

サポートベルトを使用せず抱っこする場合は、サポートベルトを肩ベルトから取りはずしてください。



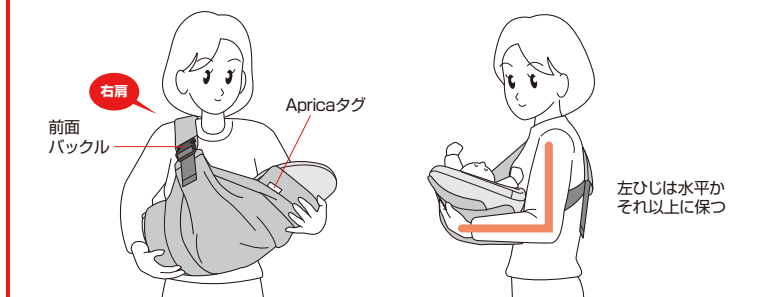
抱っこが安定するため、慣れるまではサポートベルトの使用をおすすめします。  
サポートベルトを使用しないときはお子さまの手の届かないところに保管ください。

## 4 ママうで抱っこ プラス (抱っこクッション+スリングベルト) の完成



右手でお子さまの足もとを下から支えます。安全のため、抱っこ中は両手でお子さまを支えることをおすすめします。

## 装着のチェックポイント



- 全てのバックルとホックがとまっている。
- お子さまの頭がお子さまのおなかより高い位置にある。
- 肩ベルトは右肩にかかっている。
- 左ひじを水平かそれ以上に保っている。
- 前面バックル、Apricaタグが身体の前にきている。
- お子さまの身体が極端にねじれていない。

## お子さまの降ろし方

### 1 お子さまを降ろしてサポートベルトをはずす

① サポートベルトのバックルをはずします。  
② 前面バックルを立てて肩ベルトをゆるめます。

お子さまの頭を支えたまま、安全な場所に降ろし、

### 2 使用者からスリングベルトを抜きお子さまを降ろす

肩ベルトは安全のため抱っこクッションの下に

① スリングベルトを肩から抜きます。  
② 股当てのバックルをはずし(左右)、お子さまを抱っこクッションから降ろして別の場所に寝かせます。

**警告** ・スリングベルトの肩ベルトがお子さまの顔や身体にかかったままにしない。窒息や思わぬけがのおそれがあります。

## お子さまを抱っこクッションに寝かせたままにする場合

・スリングベルトは取りはずし、抱っこクッションだけの状態にしてください。

ゆるめる

足元のホックをはずし、ベルトをゆるめます。

### 股当てを使用しないときは

ベルトをゆるめてから股当てをクッション下に入れ込み、裏側でバックルをとめます。

**警告**

抱っこクッションに寝かせたままにする場合は、  
 ・抱っこクッションからスリングベルトを取りはずすこと。  
 ・平らで安全な場所に寝かせること。  
 ・保護者の目の届く範囲で行うこと。  
 ・お子さまが寝返りをするようになったら、使用をやめる。  
 ・股当ては、バックルがはずれた状態でお子さまの手の届く範囲に置かない。  
 お子さまの思わぬ動きにより、窒息やケガなどのおそれがあります。



## 3WAY抱っこひもの使用方法

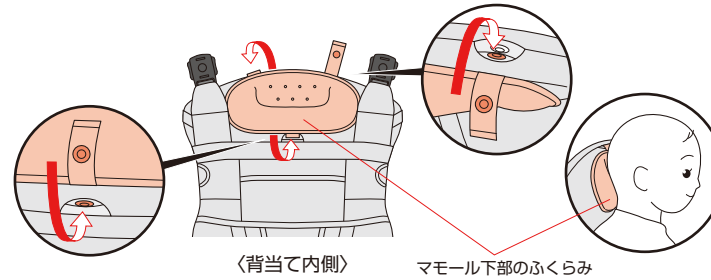
### 各部の調節・使用方法

**警告**

・各抱っこ方法に合わせて、各部を正しく調節する。思わぬ事故につながるおそれがあります。  
 ・各部品を他の製品に取り付けて使用したり、単体で使用しない。思わぬ事故につながるおそれがあります。

#### 首マモール

〈タテ対面抱っこ〉 首すわり前のお子さまの首と頭を支え、呼吸しやすい姿勢をサポートします。



●ヘッドサポートの取り付け穴(3か所)にフックでとめます。  
 首マモール下部のふくらみをお子さまの首の後ろに合わせて使用します。

・おやすみカーテンと併用できます。

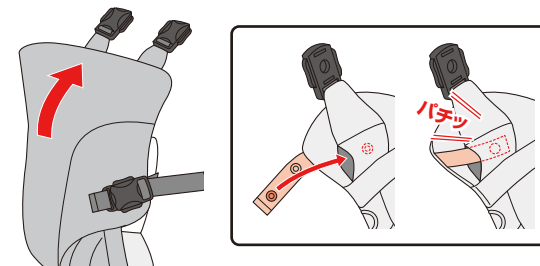
**警告**

・首マモールは首がすわるまでは必ず使用し、首すわり以降は取りはずす。お子さまが体調をくずすおそれがあります。

#### ヘッドサポート

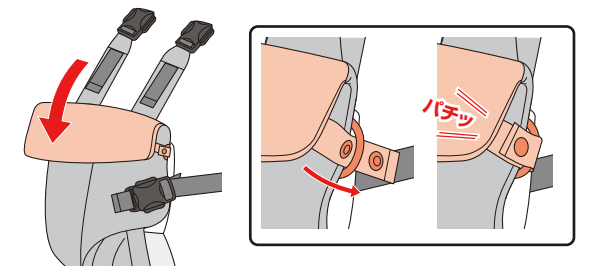
お子さまの頭と首を支えます。

#### 起こして使用 〈タテ対面抱っこ・おんぶ〉



ヘッドサポートを起こして、ベルトをセーフティベルト内側(内部)のホックにとめます。

#### 外側に倒して使用 〈前向き抱っこ〉

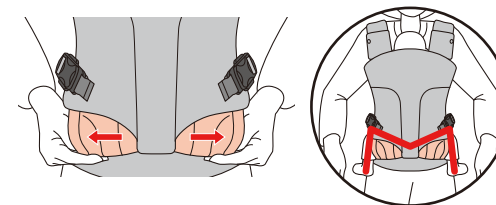


ヘッドサポートを外側に折り返し、ベルトをループに通してホックをとめます。

#### あしらくサポート

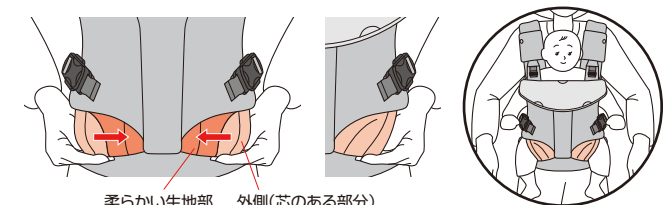
股幅を調節し、お子さまの足が自然なM字脚姿勢になるよう支えます。

#### 広くする 〈タテ対面抱っこ・おんぶ〉



外側を持ち、引き出します。

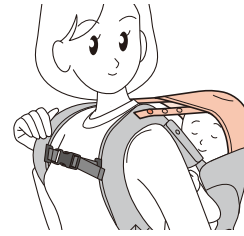
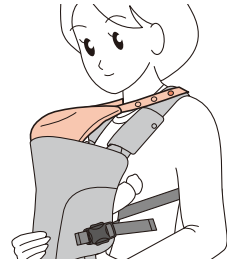
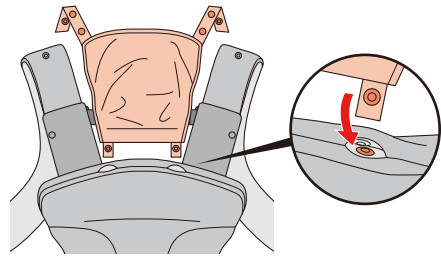
#### せまくする 〈前向き抱っこ〉



外側(芯のある部分)を持ち、内側の柔らかい生地部を中心部の裏側に向かって入れ込むようにしてください。  
 お子さまが足を前にも自由に動かせるか鏡に映して確認してください。

## おやすみカーテン

〈タテ対面抱っこ・おんぶ〉 風よけや日差しよけにもなります。



① ホックをヘッドサポートにとめます。(左右)

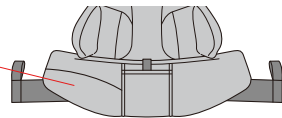
② ホックを肩ベルトにとめます。  
3段階で調節できます。

おんぶのときは鏡などに映して確認してください。ときどきお子さまの様子を確認してください。

・首マモールと併用できます。前向き抱っここのとき、ヘッドサポートを外側に倒しているときには使用できません。

### 〈収納方法〉

未使用時は腰ベルトのポケットに収納できます。

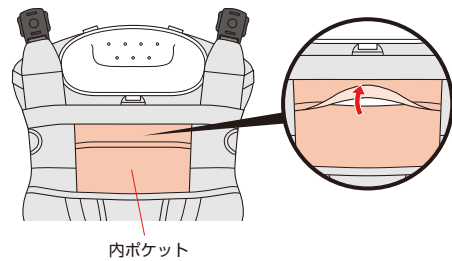


・お子さまの様子に注意しながらおやすみカーテンを使用すること。口がふさがると窒息するおそれがあります。

## 内ポケット

内ポケットは、保冷剤やミナタオルなどを入れることができます。(保冷剤は本製品には付属しておりません。)

### 〈背当て内側〉



内ポケット



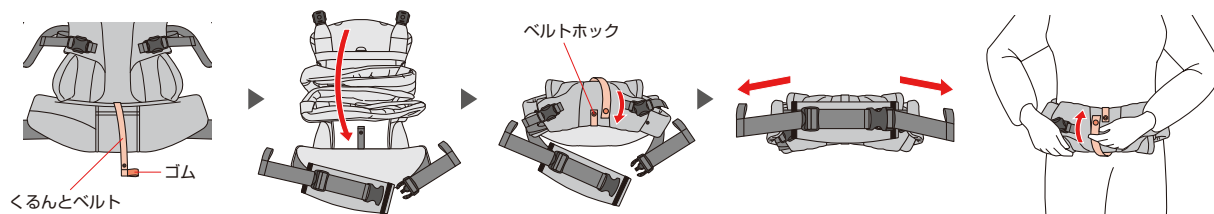
・内ポケット、腰ベルトポケットには尖ったものや固いものなどを入れない。お子さまが傷害を負うおそれがあります。  
・ポケットにカイロは入れない。

〈保冷剤を入れてご使用になる場合には〉

・保冷剤はミナタオルに巻くなどして全体を包み、必ず肌に直接触れないようにして使用する。凍傷などのおそれがあります。  
・使用する保冷剤の注意事項に従って使用する。  
・長時間ポケットに保冷剤を入れない。お子さまの身体が冷えすぎないように、時々確認する。  
・水滴により製品が濡れた場合は、十分乾燥させる。カビなどが発生するおそれがあります。

## 本体の折りたたみ方

首マモールを付けたままでも折りたたむことができます。



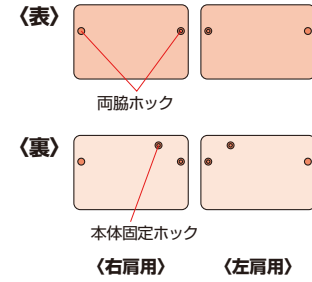
くるんとベルト

くるんとベルトを収納ポケットから引き出し、先端のゴムをほどく。左右の肩ベルトをまとめて本体と一緒に折りたたみ、くるんとベルトで巻いてホックでとめます。腰バックルをとめて、ベルトを調節します。

着用したままでもたためます。

## よだれパッド

お子さまがセーフティバックルをかんだり、バックルが顔に当たる位置に来る場合に保護します。



〈表〉

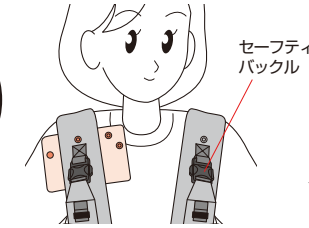
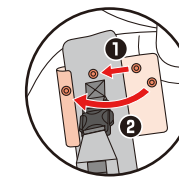
両脇ホック

〈裏〉

本体固定ホック

〈右肩用〉

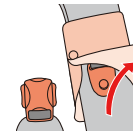
〈左肩用〉



セーフティバックル

◀ 外側 ▶ 外側 ▶

① 本体固定ホックで肩ベルトにとめ、② 巻きつけて両脇ホックでとめます。  
・ホックが外側に来る向きに取り付けます。



セーフティバックルを付けはずしするときはパッドをめくります。

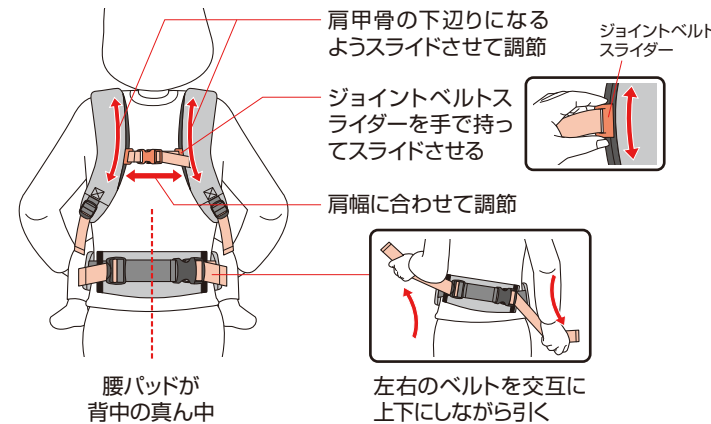


・本製品に付属しているよだれパッド以外のパッド類を使用しない。バックルの可動範囲を制限してしまうなど、製品の機能を十分に発揮できないおそれがあります。

## ベルトの調節

・ベルトの長さは必ずお子さまや使用者の身体に合わせて調節してください。

### 使用者の身体にフィットさせる



肩甲骨の下辺りになるようスライドさせて調節

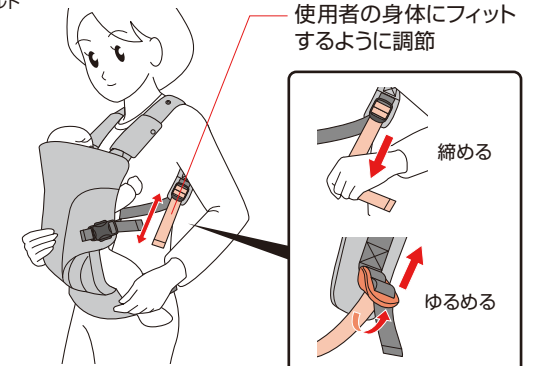
ジョイントベルトスライダー

ジョイントベルトスライダーを手で持ってスライドさせる

肩幅に合わせて調節

腰パッドが背中の真ん中

左右のベルトを交互に上下にしながら引く

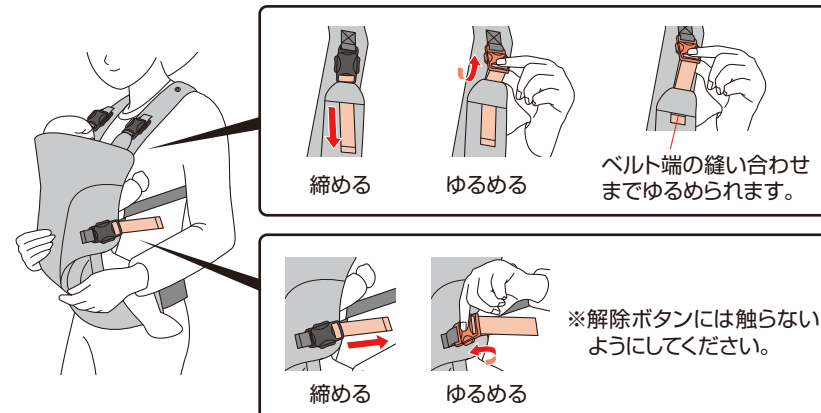


使用者の身体にフィットするように調節

締める

ゆるめる

### お子さまと使用者の距離を調節



締める

ゆるめる

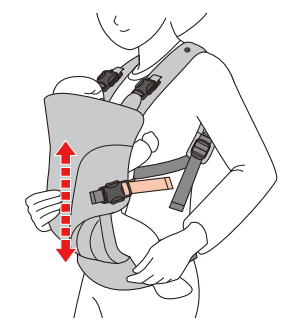
ベルト端の縫い合わせまでゆるめられます。

締める

ゆるめる

※解除ボタンには触らないようにしてください。

### 〈お子さまの位置(高さ)調節〉

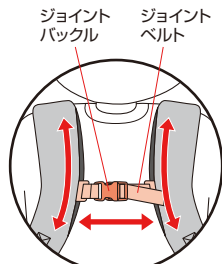


・締めて位置を上げる。  
・ゆるめて位置を下げる。

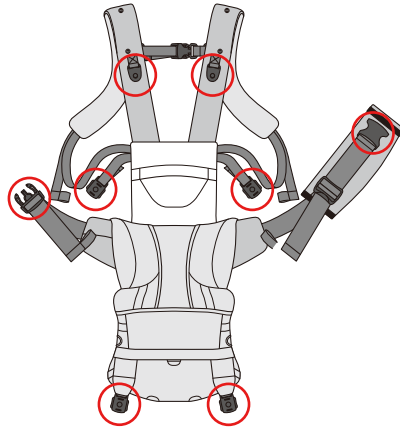
# 使用者への装着方法 (お子さまを抱っこする前に)

・お子さまを抱っこひもに乗せる前に使用者に3WAY抱っこひもを装着します。

## 1 事前準備



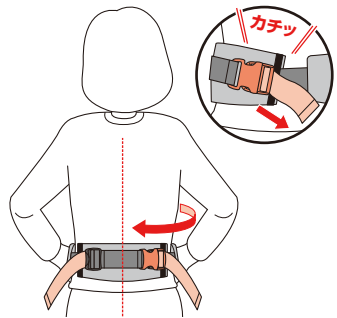
〈背中側〉



- ・ジョイントベルトの位置、長さは使用者に合わせて調節しておきます。
- ・ジョイントバックル以外のバックルははずしておきます。
- ・ジョイントベルト以外のベルトはゆるめにしておき、装着後に調節します。

首マモール、ヘッドサポートは各抱っこに合わせて事前に装着・調節しておいてください。

## 2 腰バックルをとめる

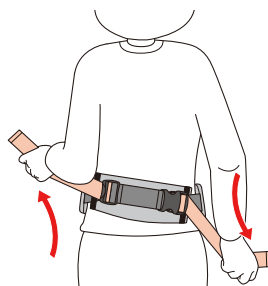


ゴムループを通してバックルをとめ、ベルト端を引き出します。腰パッドを背中の中真ん中に回します。

## 3 腰ベルトの長さを調節する



左右のベルトは同じ長さになるようにする。



左右のベルトを交互に上下にしながらかたく引っ張り調節します。

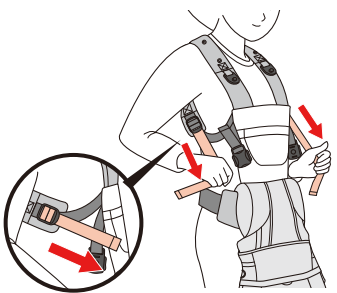
## 4 抱っこひもをかぶる



ジョイントバックルがとまっていることを確認し、両腕を通して抱っこひもを頭からかぶります。

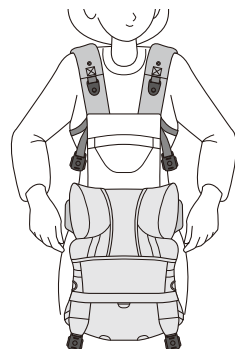
※両腕を通したあとに、ジョイントバックルをとめることもできます。

## 5 脇ベルトの長さを調節する



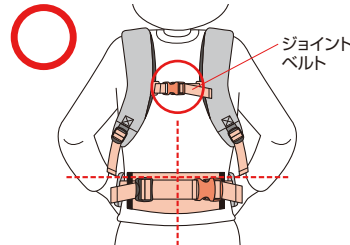
左右脇ベルトの先端を引っ張り、使用者の身体にフィットさせます。左右のベルトは同じ長さになります。

## 6 完成



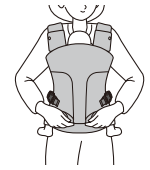
お子さまに乗せる準備が完了。

## チェックポイント



- 腰ベルトの上側が腰骨より少し上に来ている。
- 腰パッドが背中の中真ん中に来ている。
- ジョイントベルトは肩甲骨の下あたりにある。
- ジョイントバックルがとまっている。
- 使用者に合わせてベルトを調節している。

# タテ対面抱っこ



タテ対面抱っこ装着動画



2カ月以降かつ身長55cm以上～36カ月(体重15kg)まで

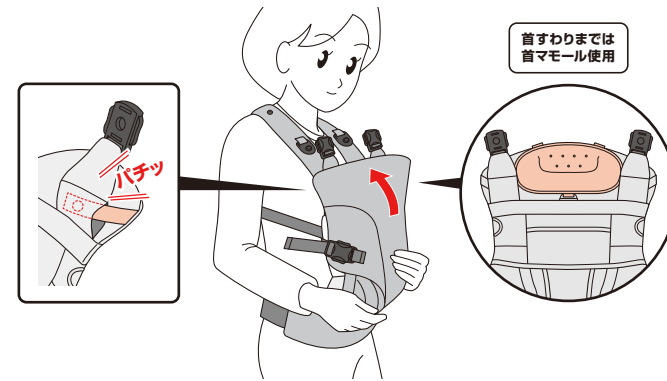
※24カ月を超えて36カ月まではSGマーク制度対象外です。

連続使用の目安	ヘッドサポート	首マモール	あしらくサポート	おやすみカーテン
首がすわるまでは 1時間以内 首すわり以降は 2時間以内	起こして使用 (弱屈な場合は外側に倒しても可)	首がすわるまでは必ず使用 ○ 首すわり以降は使用不可 ×	広くする	使用可 ○

## お子さまを乗せる

・使用者に抱っこひもを装着した状態(P13 6 参照)から行います。

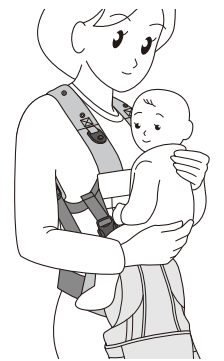
## 1 事前準備



ヘッドサポートを起こしてベルトホックでとめ、首すわり前は首マモールを取り付けます。(P10参照)

※開梱時はヘッドサポートは起きており、首マモールは装着されているのでこの手順は不要です。

## 2 お子さまを抱き上げる

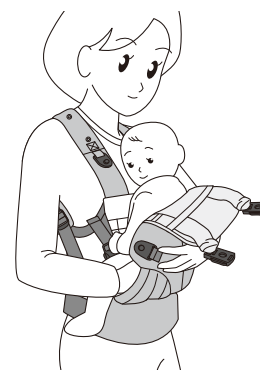


お子さまをしっかり支えて抱き上げます。



首がすわるまでは、お子さまの首と頭をしっかり支えてください。

## 3 背あてを引き上げる



お子さまの身体を使用者に預けるようにして支えながら、もう片方の手で背当てを引き上げます。

〈月齢の小さい頃は〉

ベッドやソファなどの上に背当てを広げてお子さまを寝かせ、そこから抱き上げると安心です。



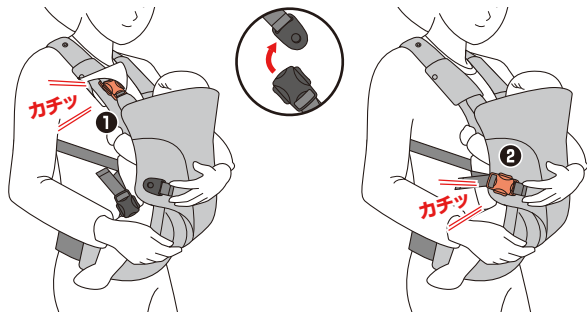
〈首すわりまでは首マモール使用〉



首マモール下部のふくらみをお子さまの首の後ろに合わせる。

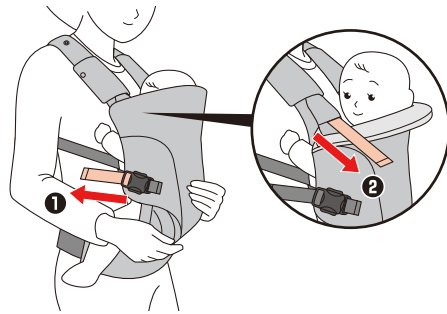
## タテ対面抱っこ (つづき)

### 4 バックルをとめる



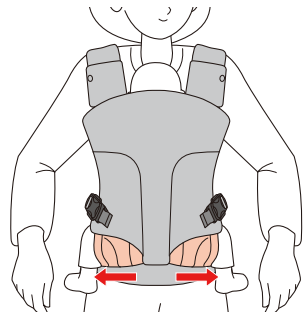
①セーフティバックル、②フィットバックルをとめます。

### 5 ベルトを調節する



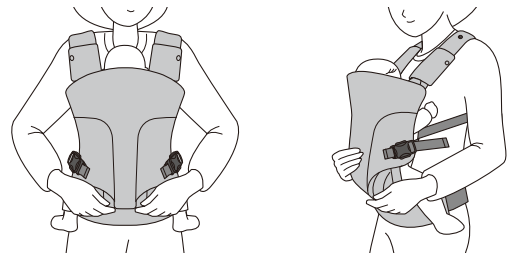
①フィットベルト、②セーフティベルトを調節します。

### 6 あしらくサポートを調節する




左右のあしらくサポートを広げます。(P10参照)

### 7 タテ対面抱っこの完成

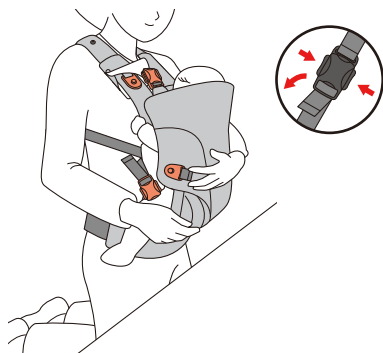


装着のチェックポイント(P19)参照

 お子さまの位置が低くなりすぎる場合は、お子さまのおしりの下にタオルを敷いて、高さを調節してください。

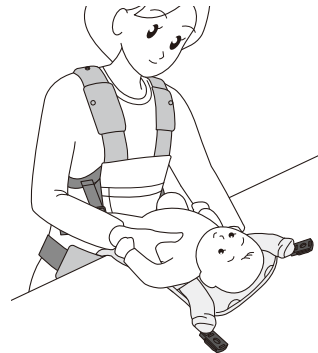
**お子さまを降ろす** 低い姿勢で常にお子さまを手で支えながら行ってください。

### 1 バックルをはずす



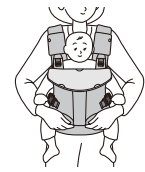
必ずお子さまを支えたままで、セーフティバックルとフィットバックルをはずします。

### 2 お子さまを降ろす



抱っこひもごと台の上へ降ろし、背当てを引き抜きます。首すわり前は首の後ろをしっかり支えてください。

## 前向き抱っこ



前向き抱っこ  
装着動画



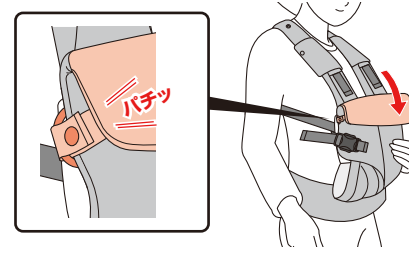
ひとり座りができた7カ月～24カ月(体重13kg)まで

・前向き抱っこは、前に乗り出す姿勢になりがちでお子さまの身体に負担が  
かかりやすいため、お子さまの様子を確認しながらご使用ください。

連続使用の目安	ヘッドサポート	首マモール	あしらくサポート	おやすみカーテン
2時間以内	外側に倒す	使用不可 ×	せまくする	使用不可 ×

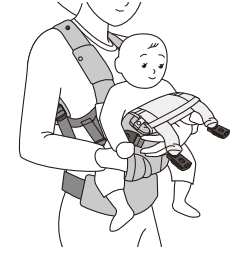
・使用者に抱っこひもを装着した状態(P13 6 参照)から行います。

### 1 事前準備



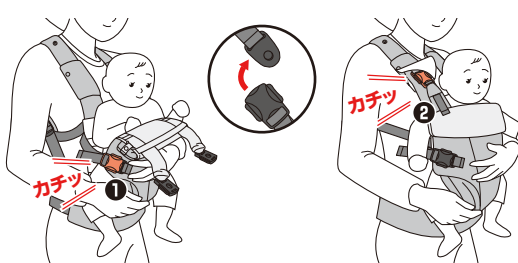
ヘッドサポートを外側に折り返し、ベルトをループに通して  
ホックをとめます。(P10参照)

### 2 お子さまを抱き入れる



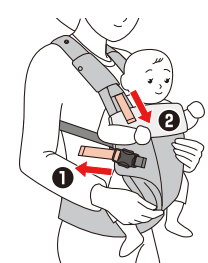
お子さまを前向きに抱っこし、しっかり支えながら  
背当てを引き上げます。

### 3 バックルをとめる



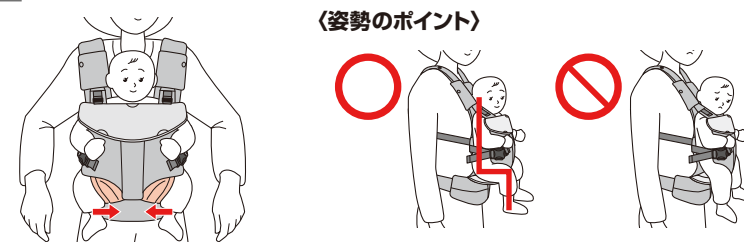
①フィットバックル、②セーフティバックルをとめます。

### 4 ベルトを調節する



①フィットベルト、②セーフティベルトを調節します。

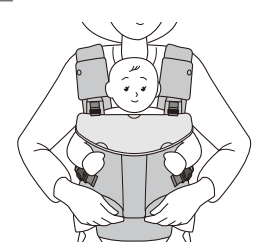
### 5 あしらくサポートを調節する



あしらくサポートを内側に入れ  
込み、せまくします。(P10参照)

〈姿勢のポイント〉  
使用者にもたれて椅子に座っているような姿勢になる  
ように。直立したような姿勢のときは両太ももを持ち上  
げて膝が前方に向くようにしてください。

### 6 前向き抱っこの完成



装着のチェックポイント(P19)参照

首がすわった4カ月～36カ月(体重15kg)まで



連続使用の目安	ヘッドサポート	首マール	あしらくサポート	おやすみカーテン
2時間以内	起こして使用 (窮屈な場合は 外側に倒しても可)	使用不可 ×	広くする	使用可 ○

**タテ対面抱っこから回転させておんぶへ** タテ対面抱っこの完成(P15参照)の状態から行います。

・回転時に洋服やアクセサリーなどが引っ掛からないようにご注意ください。

**1 脇ベルトをゆるめる**

お子さまを支えた状態で左右の脇ベルトをゆるめます。

**2 右腕を上へ抜く**

右腕を肩ベルトの下からくぐらせ、腕を上へ抜きます。

**3 左ひじを下へ抜く**

左ひじを脇ベルトの内側にくぐらせ、下に抜きます。

**4 お子さまを背中に移動させる**

右手でお子さまを支え、左手で腰ベルトをもって背面に回します。お子さまを身体に添わせながら前かがみの姿勢で右腕の下にくぐらせて移動させます。

**5 右腕・左腕を通す**

右腕を通して肩ベルトを肩の位置まで戻し、左腕も同様に戻します。前かがみの姿勢で行い、肩ベルトがねじれていないか確認してください。

**6 ベルト長さ・位置を調節する**

脇ベルトを引いて長さを調節します。ジョイントベルトは使用者の脇あたりまで移動させ、長さを調節します。

**7 装着の確認**

鏡などに映して、お子さまの腕がフィットベルトの上であり、お尻が腰ベルトより下がりにすぎないことを確認します。

**ソファなどを使用して装着** 背もたれのある安全なソファなどの上で行いましょう。

**1 お子さまに装着する**

全てのバックルをはずし、脇ベルトは使用者に合わせて調節しておく。

お子さまを背当てと胸当ての間に座らせ、フィットバックル、セーフティバックルをとめて長さを調節します。腰ベルトはお子さまの足の上に出しておきます。

**2 お子さまを背負う**

両肩ベルトを腕に通し、ジョイントバックルをとめます。お子さまのお尻を支えながら前かがみの姿勢でお子さまを背負い、片側ずつ脇ベルトを引っ張り、締めます。

**3 腰ベルトをとめる**

前かがみの姿勢のまま立ち上がり、ゴムループを通して腰バックルをとめ、調節します。

**4 装着の確認**

鏡などに映して、お子さまの腕がフィットベルトの上にあること、足を腰ベルトではさんでいないこと、お尻が腰ベルトより下がりにすぎないことを確認します。

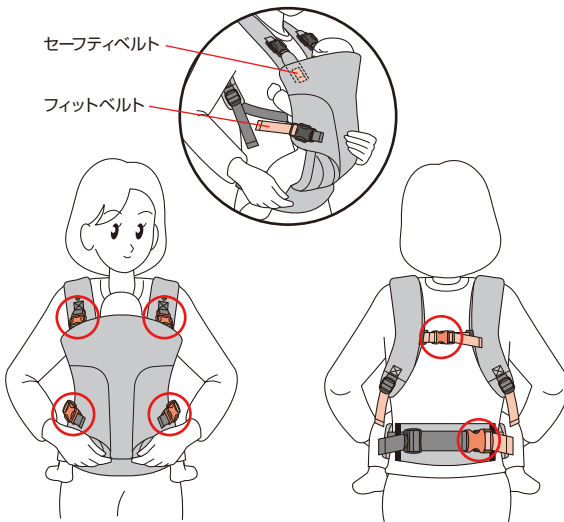
**おんぶの降ろし方** 背もたれのある安全なソファなどの場所で、低い姿勢で行いましょう。

- ・ソファなどに座り、腰バックル、ジョイントバックルをはずします。
- ・肩ベルトを肩から抜いて、お子さまをゆっくり降ろします。
- ・セーフティバックル、フィットバックルをはずして、お子さまから抱っこひもを取りはずします。

※P17の「タテ対面抱っこからおんぶへ」の逆の手順でお子さまをおんぶからタテ対面抱っこにしてから降ろすこともできます。

## 3WAY抱っこひも 装着のチェックポイント

- ・抱っこひもの装着方法はP13以降をご確認ください。
- ・正しく装着されているか、鏡に姿を映すなどして確認してください。



### バックル類のとめ忘れはありませんか

- 全てのバックルが確実にとまっている。

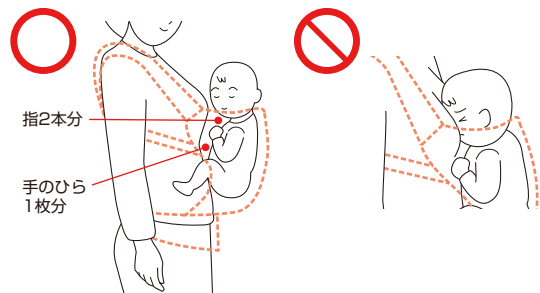
### お子さまの位置・姿勢は適切ですか

- お子さまの両足がフィットベルトの下から出ている。
- お子さまの両腕がセーフティベルトの下(フィットベルトの上)から出ている。
- お子さまが抱っこひもの中心位置にきている。(左右どちらかに偏っていない。)
- お子さまの両足が腰ベルトと使用者の間に挟まっていない。

### ベルトのゆるみはありませんか

- 各ベルトの長さをお子さまと使用者に合わせて調節している。
- 使用者とお子さまの間にすき間が空きすぎている。
- セーフティベルト、フィットベルト、脇ベルト、腰ベルトの長さが左右で違いすぎない。

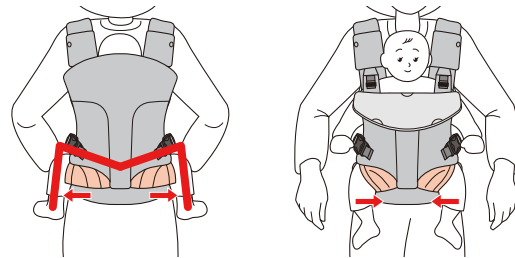
### お子さまの呼吸を妨げていませんか



- お子さまのあごの下と胸の間には少なくとも大人の指2本程度のすき間がある。
- お子さまの腹部と使用者の間に手のひら1枚分のすき間がある。(首が完全にすわったら、こぶしひとつ分のすき間)
- 抱っこひもや使用者の身体でお子さまの鼻や口をふさいでない。

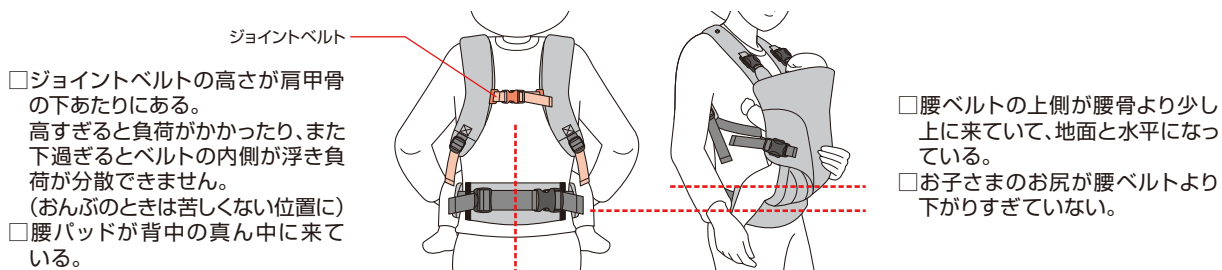
### あしらくサポートは適切に調節していますか

- ・タテ対面抱っこ
- ・おんぶ
- ・前向き抱っこ



- 【タテ対面抱っこ、おんぶ】あしらくサポートが広く、お子さまの足が自然なM字型になっている。
- 【前向き抱っこ】あしらくサポートがせまく、足を前にも自由に動かせるようになっている。

### 使用者の肩や腰の負担を軽減するために



- ジョイントベルトの高さが肩甲骨の下あたりにある。高すぎると負荷がかかったり、また下過ぎるとベルトの内側が浮き負荷が分散できません。(おんぶのときは苦しくない位置に)
- 腰パッドが背中中の真ん中に来ている。

- 腰ベルトの上側が腰骨より少し上に来ていて、地面と水平になっている。
- お子さまのお尻が腰ベルトより下がりすぎない。

## お手入れについて

### 〈軽度の汚れの場合〉

- ・湿らせた布でたたいて汚れを落としてください。

### 〈洗濯する場合〉

#### ●スリングベルト、サポートベルト、3WAY抱っこひも、おやすみカーテン、よだれパッド



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞りは禁止

洗濯時には、  
・スリングベルトから抱っこクッションを取りはずしてください。  
・バックル同士をとめ、バックルを内側に入れ込む向きで折りたたみ、洗濯ネットに入れてください。  
(サポートベルトをスリングベルトに取り付けたまま洗濯する場合は、バックル部をスリングベルトの内側に入れ込むようにしてください。)

**洗濯のしかた** ・40℃以下の水温で洗濯機で洗えます。  
※洗濯機のメーカーや設定により異なりますが、しっかり洗うコースなどの強い洗濯コースを避け、標準やデリケートなどのコースを選んでください。

**乾燥のしかた** ・日陰で下図のように吊り干してください。

#### ●抱っこクッション



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞りは禁止

**洗濯のしかた** ・30℃以下の水温で洗濯機で洗えます。  
※洗濯機のメーカーや設定により異なりますが、デリケートコースやドライコースなど、より弱いコースを選んでください。  
・バックル同士をとめ、抱っこクッションのパイル生地側を内側にして折りたたみ、洗濯ネットに入れてください。

**乾燥のしかた** ・日陰で下図のように吊り干してください。

#### ●首マモール

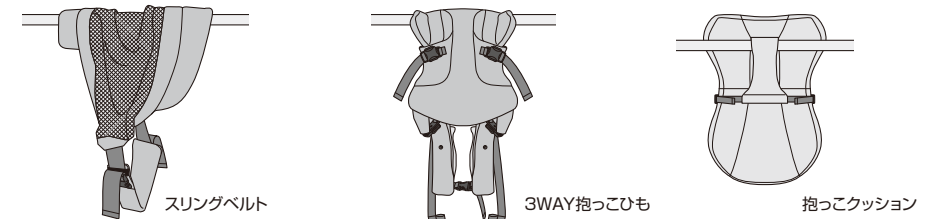


※ねじり又は絞りは禁止

**洗濯のしかた** ・水温40℃以下で手洗いしてください。きついもみ洗いはしないでください。洗濯機では洗えません。

**乾燥のしかた** ・日陰で平干してください。

〈吊り干し〉



### お手入れの注意事項(各部品共通)

- ・他の洗濯物とは別に洗濯してください。色落ちし移染したり、破損などのおそれがあります。
- ・蛍光剤や漂白剤入りの洗剤を使用しないでください。
- ・つけ置きしないでください。
- ・洗濯後は放置せず十分乾燥させてください。カビなどが発生するおそれがあります。

- ・ベルトにまとめゴムがある場合ははずして洗濯してください。
- ・脱水機の使用は短時間(2~3分)にしてください。バックルなどの破損や、変形につながるおそれがあります。
- ・乾燥には乾燥機を使用しないでください。
- ・アイロンは使用しないでください。

- ・雨や汗などでぬれた場合も放置せず、十分乾燥させてください。カビなどが発生するおそれがあります。
- ・洗濯による色落ちなどは、補償の対象外となります。

## 点検について

- ・ご使用前に、バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、傷が無いことを確認してください。異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

製品に関するQ&Aは、こちらのQRコードからご確認ください。



## SGマーク制度について

SGマーク制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって人身事故が発生した場合に、製品安全協会が賠償措置を行う制度です。

- ・抱っこひもの場合、ご購入後3年以内の製品が対象となります。
- ・SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではありません。
- ・人的損害(治療費等)を賠償するものであり、物的損害は賠償の対象となりません。



〈抱っこひものSGマーク制度の適用対象月齢は以下のとおりです。〉

- ・ママうで抱っこ：0カ月から4カ月(体重7kg)まで
- ・タテ対面抱っこ：2カ月から24カ月(体重13kg)まで
- ・前向き抱っこ：7カ月から24カ月(体重13kg)まで
- ・おんぶ：4カ月から36カ月(体重15kg)まで

※抱っこクッションにスリングベルトをセットした場合のみSGマーク適用であり、抱っこクッション単体での使用は対象外です。

※タテ対面抱っこの24カ月を超えて36カ月まではSGマーク制度の対象外です。

【製品の欠陥によって事故が起きた場合】

事故が発生した日から60日以内に製品安全協会へ連絡してください。  
または、事故が起きたらすぐに製品安全協会へ連絡してください。

ご連絡は製品安全協会ホームページの「SGマーク賠償制度とは」の下部にある事故申出フォームをお使いください。

<https://www.sg-mark.org/reparation>



## 保証とアフターサービスについて

・保証期間中(購入日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償にて対応を致します。  
ただし、部品の色・柄などについては、ご希望に添えない場合があります。また、製造中止後の製品については、対応出来ないこともあります。

### アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)